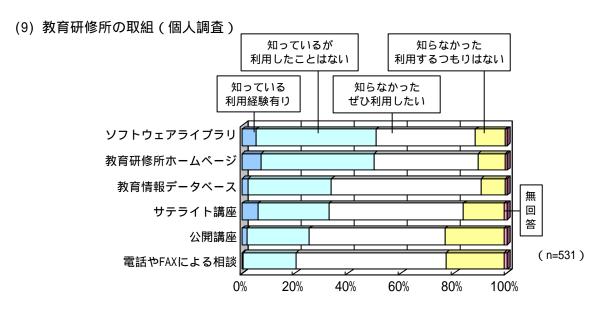
## (8) コンピュータに関する研修への希望(個人調査)

													(複数回答有り) <sub>(人)</sub>			
校種	レベル	割合	基本的な 操作	学習 活動例	ワープロ 文書作成	表計算 成績処理	画像処理	デジタル スチルカメラ	インターネット 入門	ホームページの 作成	デジタル ピテ゚オカメラ ピデオ 編集	マルチメディア 教材作成	LANの 構築・管理	プログラミング 言語	コンピュータの 組立	その他
	初級者 (n=81)	37.7%	41 (50.6%)	53 (65.4%)	14 (17.3%)	16 (19.8%)	(28.4%)	16 (19.8%)	(38.3%)	12 (14.8%)	17 (21.0%)	11 (13.6%)	(1.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
ds	中級者		14	(65.4%)	(17.3%)	(19.0%)	42	(19.6%)	(30.3%)	43	48	35	21	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
小学	(n=119)	55.3%	(11.8%)	(56.3%)	(7.6%)	(14.3%)	(35.3%)	(12.6%)	(9.2%)	(36.1%)	(40.3%)	(29.4%)	(17.6%)	(5.0%)	(5.0%)	(0.0%)
校	上級者	7.0%	(6.7%)	(53.3%)	(0.0%)	(13.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(20.0%)	(20.0%)	(40.0%)	(60.0%)	5 (33.3%)	(26.7%)	(6.7%)
	(n=15) 小 計	100 0%	(6.7%) 56	128	23	(13.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(20.0%)	(20.0%)	(40.0%)	. ,	(33.3%)	(26.7%)	(0.7%)
	(n=215)	100.0%	(26.0%)	(59.5%)	(10.7%)	(16.3%)	(30.2%)	(14.4%)	(19.5%)	(27.0%)	(31.6%)	(24.2%)	(14.4%)	(5.1%)	(4.7%)	(0.5%)
	初級者 (n=39)	29.1%	20 (51.3%)	(59.0%)	(30.8%)	(33.3%)	7 (17.9%)	6 (15.4%)	16 (41.0%)	(7.7%)	7 (17.9%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(2.6%)
_	中級者	FC 0%	9	49	(30.0%)	15	30	14	(41.0%)	22	29	13	11	(0.0%)	3	(2.0%)
中学	(n=75)	56.0%	(12.0%)	(65.3%)	(10.7%)	(20.0%)	(40.0%)	(18.7%)	(10.7%)	(29.3%)	(38.7%)	(17.3%)	(14.7%)	(4.0%)	(4.0%)	(1.3%)
· 学 校	上級者 (n=20)	14.9%	(0.0%)	10 (50.0%)	(0.0%)	(5.0%)	(15.0%)	(5.0%)	(0.0%)	(50.0%)	(25.0%)	(40.0%)	(15.0%)	5 (25.0%)	(15.0%)	(20.0%)
	小 計	100.0%	29	82	20	29	40	21	24	35	41	21	14	(23.0%)	(13.0%)	(20.0%)
	(n=134)	100.0%	(21.6%)	(61.2%)	(14.9%)	(21.6%)	(29.9%)	(15.7%)	(17.9%)	(26.1%)	(30.6%)	(15.7%)	(10.4%)	(6.0%)	(4.5%)	(4.5%)
	初級者 (n=48)	33.1%	(47.9%)	18 (37.5%)	(16.7%)	13 (27.1%)	12 (25.0%)	5 (10.4%)	(50.0%)	5 (10.4%)	(27.1%)	(6.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(6.3%)
高	中級者	E4 0%	(47.9%)	(37.5%)	(16.7%)	12	(25.0%)	12	(50.0%)	(10.4%)	23	(6.3%)	13	(0.0%)	7	(6.3%)
等	(n=74)	51.0%	(5.4%)	(47.3%)	(4.1%)	(16.2%)	(32.4%)	(16.2%)	(13.5%)	(29.7%)	(31.1%)	(35.1%)	(17.6%)	(13.5%)	(9.5%)	(8.1%)
学校	上級者 (n=23)	15.9%	(4.2%)	(47.4%)	(0.0%)	(0.0%)	(8.7%)	(0.0%)	(4.3%)	(47.4%)	(26.1%)	(24.0%)	(47.8%)	11 (47.8%)	6	(13.0%)
^	小 計	100 0%	(4.3%) 28	(17.4%) 57	(0.0%)	(0.0%) 25	38	(0.0%)	(4.3%)	(17.4%) 31	(20.1%)	(34.8%)	(47.6%)	(47.6%)	(26.1%) 13	(13.0%)
	(n=145)	100.0%	(19.3%)	(39.3%)	(7.6%)	(17.2%)	(26.2%)	(11.7%)	(24.1%)	(21.4%)	(29.0%)	(25.5%)	(16.6%)	(14.5%)	(9.0%)	(8.3%)
特	初級者 (n=12)	33.3%	(66.7%)	7 (58.3%)	(33.3%)	(16.7%)	(25.0%)	(16.7%)	(33.3%)	(25.0%)	(16.7%)	(16.7%)	(8.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
殊教	中級者	58.3%	3	(36.3%)	(33.3%)	(10.7%)	12	3	(33.3%)	(23.0%)	(10.7%)	(10.7%)	(0.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
<b>教</b> 育	(n=21)	30.3%	(14.3%)	(52.4%)	(0.0%)	(4.8%)	(57.1%)	(14.3%)	(23.8%)	(23.8%)	(33.3%)	(23.8%)	(14.3%)	(4.8%)	(4.8%)	(0.0%)
育諸学校	上級者 (n=3)	8.3%	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(33.3%)	(0.0%)	(100.0%)	(66.7%)	(66.7%)	(33.3%)	(0.0%)
	小 計	100.0%	11	18	(0.0%)	(0.0%)	15	(0.0%)	(0.0%)	(33.3%)	(0.0%)	100.0%)	(60.7%)	(00.7%)	(33.3%)	(0.0%)
	(n=36)	100.0%	(30.6%)	(50.0%)	(11.1%)	(8.3%)	(41.7%)	(13.9%)	(25.0%)	(25.0%)	(25.0%)	(27.8%)	(16.7%)	(8.3%)	(5.6%)	(0.0%)
	初級者 (n=180)	34.0%	92 (51.1%)	101 (56.1%)	38 (21.1%)	44 (24.4%)	45 (25.0%)	29 (16.1%)	75 (41.7%)	23 (12.8%)	39 (21.7%)	16 (8.9%)	(1.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(2.2%)
445	中級者	E4 EV	30	162	20	(24.4%)	108	(16.1%)	(41.7%)	92	107	(8.9%)	48	(0.0%)	17	7
総合	(n=289)	54.5%	(10.4%)	(56.1%)	(6.9%)	(15.6%)	(37.4%)	(15.2%)	(11.8%)	(31.8%)	(37.0%)	(27.3%)	(16.6%)	(6.9%)	(5.9%)	(2.4%)
合計	上級者	11.5%	(2.2%)	(20. 4%)	(0.0%)	(4.0%)	5	(1.6%)	(1.6%)	18	14	25	25	23	14	8
	(n=61) 小 計	400.00	(3.3%) 124	(36.1%) 285	(0.0%) 58	(4.9%) 92	(8.2%) 158	(1.6%) 7.4	(1.6%) 110	(29.5%) 133	(23.0%) 160	(41.0%) 120	(41.0%) 75	(37.7%) 43	(23.0%) 31	(13.1%) 19
Ш	(n=530)	100.0%	(23.4%)	(53.8%)	(10.9%)	(17.4%)	(29.8%)	(14.0%)	(20.8%)	(25.1%)	(30.2%)	(22.6%)	(14.2%)	(8.1%)	(5.8%)	(3.6%)

教員の研修内容の希望については、「学習活動例」が最も高い。その他は、「デジタルビデオカメラ・ビデオ編集」「画像処理」「ホームページの作成」「マルチメディア教材作成」など、マルチメディアに関する研修の希望が多い。今後は基本的な操作技能の習得を目的とした研修から、授業における実践的な活用へと研修の領域を広げていく必要がある。また、情報教育の意義を理解することやコンピュータを用いた授業についての研修をすることも大切であると考えられる。



 これまで教育研修所が取り組んできた研修講座以外の活動について、「知っている・利用経験有り」が 非常に少なく、反対に「知らなかった・ぜひ利用してみたい」が4項目において5割を超えている。これ らの活動は、事業開始から年月が浅く、教育研修所からの情報が県内の教員に広く伝わっていない実態を 物語っている。電話やFAXによる相談は、身近に相談できる指導者がいない学校や職場にとっては、非 常に有効であり、今後はインターネットにおける電子メールの活用も含めて、活発に利用されるよう努力 したい。